

愛知みずほ大学瑞穂高等学校アクションプラン基本計画 (2016～2020) の進捗状況

Y	P	D	C	A
未着手	計画	実行	評価	改善

1 基本目標

- (1) 生徒の主体性を培い、尊重する教育を目指す。
- (2) 教科及び教科外活動により、総合的人間力を有する生徒を育成する。
- (3) 知・徳・体の調和のとれた人間関係をめざし、未来をたくましく生きぬく気力あふれる人間の育成につとめる。
- (4) 地域貢献により、社会から支持される学校作りを目指す。

Y	P	D	C	A
		○	○	

⇒ すべての教育活動を通して基本目標の達成に向けて取り組んでいる。様々な教育活動の成果を総括した評価はできていない。

2 教育活動

(1) 進路指導・学習指導

内外に「進路を大切に作る学校」と標榜し、単なる出口指導ではなく生徒個人の能力・適性に適合した進路指導を図る。なお、センター試験廃止後の新しい入試制度に対応した学習指導を展開するため、教員の資質向上に向けた校内研修・校外研修を積極的に導入する。

また、新学習指導要領への対応を行い、本校に相応しいカリキュラム編成を行う。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	

⇒ 進路実績としては、成果はまだあがっていない。新しい大学入試制度への対応はしてきている。新学習指導要領に伴う教育課程編成の枠組みを決め、教育課程表の作成に取り掛かっており、次年度1学期末までに原案を作成することとしている。

教員の資質向上に向けた研修は、本年度 ICT 活用について実施した。また、総合的な探究の時間で次年度から扱う SDG s の研修を実施する計画である。

評価に基づく具体的な改善策について、次年度実施する。

(2) 生徒指導

モラル・マナーの向上を目指し、遅刻・欠席の減少並びに身だしなみの向上を重点とするほか、情報モラル教育の徹底を図る。

Y	P	D	C	A
		○	○	

⇒ 2年生、3年生の遅刻・欠席が増えている。生徒指導部、担任が協力して指導しているが、改善につながらない。特別指導については、スマートフォンの不適切な使用

が目立つ。情報モラル教育については、教科情報での指導のほか、1・2年生に対して講話を毎年実施している。本年度の反省に立って、次年度重点的に指導す内容を設定し、取り組む。

(3) 教科外活動

- ・ 生徒会活動に主体的に取り組むよう生徒支援を図る。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	

⇒ 生徒会活動に意欲的な生徒が役員として活躍している。特に学校祭では、主体的な活動が多くみられた。ゼロの日の交通安全の活動も定着している。

- ・ 積極的に部活動に取り組むよう働きかけるとともに、強化部活動（卓球部、水泳部、スケート部）への支援を図る。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	

⇒ 卓球部、水泳部、スケート部のインターハイ出場、吹奏楽部の演奏会の機会の広がり、バスケットボール部女子の活動など、活発に行われている。

強化部活動への支援も一つの方向性が固まってきた点は評価できる。学校の知名度を高め、進路実績の向上に貢献しており、継続的な支援を図りたい。

3 その他

(1) 生徒募集

中学生のニーズに対応する渉外活動を展開し、各中学校の信頼を得るとともに、安定した生徒確保ができるよう図る。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	

⇒ 年間数度にわたる各中学校訪問、及び各地元の塾訪問も加えて概ね実現してきている。中学生へのアンケートでは、本校の印象として「健康的」、「清潔感」、「きれい」、「教師や生徒の親しみやすさ」などがあげられ、評判は良い方向に向いている。本年度の志願者数は、昨年度より増えていることも好材料である。次年度の中学校卒業生数の大幅減への対策も検討した。

(2) 高大連携

みずほ大学・短大との情報共有に努め、瑞穂高生の学園内進学を積極的に展開する。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

⇒ みずほ大学・短大への進学者を増やすために、進路指導部、学年会で働きかけをしており、教員の意識は高まってきている。

本年度は、生活インフォメーションコースの3年生が、短大の授業を受ける高大連携が一步踏み出せた。こうした連携を1・2年生で実施することにより、一層身近な

短大であることを生徒に印象付けることができる。大学との連携も検討していきたい。

(3) 教育施設設備

生徒のニーズに対応した施設設備の充実を提案する。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	

⇒ 教育環境の充実は、重要課題である。高校としての優先順位を考えていく。老朽化対応やトイレの洋式化に加えて、喫緊の課題として ICT 環境の整備がある。施設・設備の充実は、生徒募集にも直結するため、着実に整備していく必要がある。

(4) 地域貢献

- ・ 交通立番を継続するなど、交通安全への積極的協力を展開する。
- ・ 瑞穂区役所主催の「ヤングサポーター瑞穂」に積極的に参加し、生徒会活動の一環とする。
- ・ 清掃活動などのボランティア活動を実施するなど、地域に愛される高校を目指す。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	

⇒ 毎月毎回「ゼロの日」の交通立番を、教員・生徒会生徒が参加し瑞穂署からの評価を得ている。本年度は、交通安全功労団体として「愛知県警察本部長・愛知県交通安全協会会長表彰」を受けた。また、生徒会・JRC部（ボランティア関係）が中心となってボランティア活動に参加しており、意識高揚に貢献している。

生徒会は、「ヤングサポーター瑞穂」に参加し、瑞穂区との連携を行っている。また、吹奏楽部が地域の諸行事に参加している。新型コロナウイルス感染拡大で3学期は実施を見送ったが、1・2学期末に学校周辺の清掃ボランティア活動を行っている。